



ご参加ありがとうございました！  
**地区懇談会**  
 を開催しました

10月8日から13日にかけて、地区懇談会を赤岡・夜須・野市の3カ所で開催し、67人の方に参加していただきました。懇談会でいただいた市政へのご意見やご要望を抜粋して紹介します。

※11月開催の2カ所(香我美・吉川)は次号にて紹介します！

■地域支援課 ☎57-8503



## 香南市での3年間を終えて



3年間ありがとうございました！  
 これからも香南市に  
 おもむきまわります！

地域おこし協力隊員

なかしま りほ  
**中嶋 理歩**

着任して早3年が経とうとしています。3年前、歩きお遍路をしていた際に香南市の方たちの優しさで「ここに住みたい」と思い、移住したのがとても昔のように感じます。

着任してまず、私が始めたことは香南市について知ることでした。移住を検討している方に香南市の魅力や実際の生活をリアルに伝えられるよう、市内の行事に参加することで多くの人とつながり、より深く知ることができました。私の主な担当業務は、移住相談の対応、空き家バンク・お試し滞在住宅の運営、SNSなどによる香南市の情報発信です。

まず、移住相談は日々窓口に来られる方に加え、県外開催の移住相談会にも参加させていたいただきました。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、新たに「オンライン移住相談窓口」も設

け、県外の方でも場所を選ばず顔を見ての相談が可能となりました。移住という人生の大きな岐路に関わり、実際にその方が香南市に移住するとやりがいを感じます。そして、移住者の住まいを確保するための制度「空き家バンク」では当初登録が17軒でしたが、地域を回って「空き家調査」を行い、3年間で49軒になりました。近隣の空き家情報について地域の方が優しく丁寧に教えてくださり、とてもうれしかったです。

香南市の情報発信については、香南市移住サイト「香南住むず」や公式SNSにて日々行ってきました。主に、香南市の移住に関する情報や観光情報、私の移住生活について発信を行いました。0からスタートし、フォローワーが3年目に1,000を超えたときや県外の相談会で「SNS見ました！」と言ってくくださる方に会うと「続けてよかったな」としみじみ感じます。

また、生活面でもさまざまな経験ができました。香南ケーブルテレビではグルメレポーターをさせていただき、食レポはもちろん初めてとても貴重な経験でした。

最後に、活動や暮らしをあたたくサポートしてくださった香南市の皆さん、心より感謝をしております。今後も市内に住む予定ですので引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



**Q** 海岸・堤防のプラスチックごみがひどい。  
**A** 私たち住民も気を付けなければならぬが、お祭りの時だけの清掃ではなく、何とかしていただきたい。啓発活動の取り組みもしてほしい。  
**Q** 市内海岸線の漂着物については、漂着状況を見つつ処理を実施しています。今年も大雨等の影響による大量の漂着物がありましたので、県と市で管理区分はありますが、連携して現在撤去作業を実施しているところです。ただ作業は大量に漂着した時だけで、なかなか定期的には実施できない状況でありますので、地域の方たち、および関係機関のご協力をいただき、清掃活動等ができればと考えています。

**Q** 不登校未然防止の取り組みが一番大事だが、欠席日数の多い子どももいる。年間30日以上欠席者を不登校ととらえている。学校に来られる子どもは、別教室で個別対応の支援指導を行っている。学校に来られない子どもは、森田村塾という教育支援センターがあり、元教員の支援員を配置している。学校の先生も訪問し、学校での教材なども届け連携をとっている。  
**Q** コロナ対策の関係もあり、学校でのパソコンなどを活用した学習の取り組みも進めている中で、県がリモート授業の形も模索しながら進めている。そういった取り組みなども取り入れながらの学習支援を考えている。  
**A** 不登校未然防止の取り組みが一番大事だが、欠席日数の多い子どももいる。年間30日以上欠席者を不登校ととらえている。学校に来られる子どもは、別教室で個別対応の支援指導を行っている。学校に来られない子どもは、森田村塾という教育支援センターがあり、元教員の支援員を配置している。学校の先生も訪問し、学校での教材なども届け連携をとっている。

**Q** 教育長へお願い。マスク姿でひとりで登校している姿を見るとかわいそう。コロナが収まれば、これまでのように友達同士で登校できるようにしてほしい。  
**A** 徐々にできることはやらせてあげたい。安全が確認できる段階になったら、登校の形も含め仲間づくりを進めていきたい。  
**Q** 香南市の指定避難所について避難所運営マニュアルの作成を進めているが、この中でペット同伴で避難ができるように考えている。ただ現時点では、市内の避難場所は限られているので、避難者の収容を考えるとペットは室内ではなく室外で検討を進めている。  
**A** 災害が起きた時にペット同伴で避難できる避難所を検討してもらいたい。

不登校の児童・生徒について、学校には来られているが教室には入っていない子どもはいるのか。学力の保障はどのようにしているか。  
 ■農林水産課 ☎57-7517  
 ■環境対策課 ☎57-8508



※掲載にあたり、発言の一部を誌面に書き直させていただきました。  
 ※掲載している内容は、掲載写真に載っている市民の方の発言ではありません。

